

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公開番号】特開2010-13773(P2010-13773A)

【公開日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2008-175995(P2008-175995)

【国際特許分類】

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

B 0 1 D 39/20 (2006.01)

B 2 8 B 11/00 (2006.01)

D 2 1 H 13/36 (2006.01)

D 2 1 H 13/40 (2006.01)

【F I】

D 0 4 H 1/42 A

D 0 4 H 1/42 B

B 0 1 D 39/20 B

B 2 8 B 11/00 Z

D 2 1 H 13/36 Z

D 2 1 H 13/40

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日(2010.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

厚さが 5 0 0 μ m 以下であって、
ロックウールを主繊維として含有し、
ガラス繊維をさらに含有する
ことを特徴とする無機繊維ペーパー。

【請求項 2】

前記ガラス繊維は、その平均繊維径が 3 ~ 1 0 μ m の範囲内である
ことを特徴とする請求項 1 に記載された無機繊維ペーパー。

【請求項 3】

前記ガラス繊維は、その平均繊維長さが 3 ~ 1 5 mm の範囲内である
ことを特徴とする請求項 2 に記載された無機繊維ペーパー。

【請求項 4】

前記無機繊維ペーパーを構成する無機繊維は、前記ロックウールを 6 0 ~ 9 0 重量%の
範囲内で含有するとともに、前記ガラス繊維を 1 0 ~ 4 0 重量%の範囲内で含有する
ことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載された無機繊維ペーパー。

【請求項 5】

その米坪が 5 ~ 5 0 0 g / m² の範囲内である
ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載された無機繊維ペーパー。

【請求項 6】

前記ロックウールは、直径 2 1 2 μ m 以上のショットの含有率が 2 重量%以下であり、

且つ直径 $212\text{ }\mu\text{m}$ 未満のショットの含有率が 20 重量% 以下である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載された無機繊維ペーパー。

【請求項 7】

コルゲート加工された請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載された無機繊維ペーパーを有する

ことを特徴とするハニカム構造体。

【請求項 8】

焼成されている

ことを特徴とする請求項 7 に記載されたハニカム構造体。

【請求項 9】

機能剤が担持されている

ことを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載されたハニカム構造体。

【請求項 10】

請求項 9 に記載されたハニカム構造体を有する

ことを特徴とするフィルター。